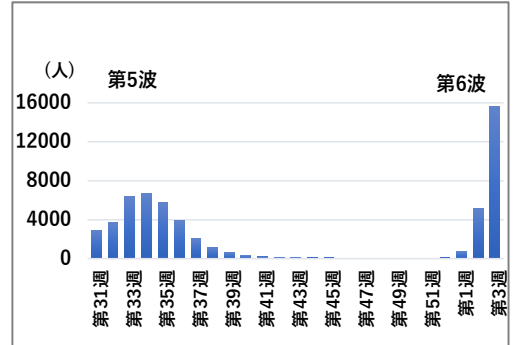


全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ia/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症に関する情報

兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は、今週 **15,672** 人(先週 **5,151** 人)で、対先週比 3.0 倍と急激なスピードで増加し、過去最多で 1 万人を超えています。年齢階級別では、20 歳代 3,530 人、10 歳代 3,174 人、40 歳代 2,188 人、30 歳代 2,113 人、10 歳未満 1,716 人の順で多く、特に 10 歳未満では、対先週比が 5.4 倍に増加しています。感染経路が分かっている人では、家庭内感染症が 53%、次いで保育園・学校での感染が 20%、職場内感染が 9%、友人が 8%となっています。今後ワクチン未接種の小児や重症化しやすい高齢者への感染が懸念されます。



新たに兵庫県を含む 18 道府県に「まん延防止等重点措置」が 1/27~2/20 日の間で追加適用となり、措置適用地域が 34 都道府県に拡大されました。これに伴い県知事より、まん延防止重点措置実施地域の指定に伴う対策の詳細が以下に発信されています。 https://web.pref.hyogo.lg.jp/governor/g_kaiken20220125.html

引き続きマスクの着用、手洗い、3 密の回避など、私たちにできる感染防止対策の徹底をお願いします。

新型コロナウイルスに関する厚生労働省、国立感染症研究所、兵庫県の情報が、兵庫県立健康科学研究所 感染症部のホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/kansensho/> からご覧になれます。

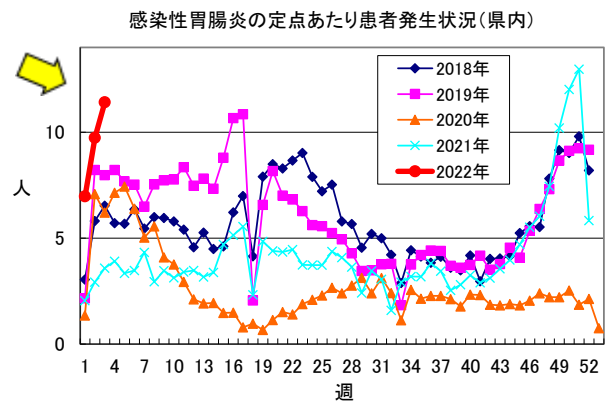
定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

感染性胃腸炎

定点あたり患者数は、今週 **11.42** 人(先週 **9.75** 人)と増加し、過去 5 年間同時期で最多となりました。地域的には、姫路市、明石市、福崎及び豊岡保健所管内で警報レベル開始基準値の 20.0 人以上となっています。

施設・学校における感染症集団発生状況では、今週 2 件(先週 5 件)の集団発生が報告されています。

感染性胃腸炎は細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、特に冬季はノロウイルスによるものが多くなっています。ノロウイルスは、患者の大便や吐物中に大量に含まれており、感染力が非常に強いウイルスです。エタノールなどの消毒剤はあまり効果がないため、吐物などは次亜塩素酸ナトリウムを使用し、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用して処理しましょう。カキなど二枚貝類は十分加熱して食べるなどの注意が重要です。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	11.42	9.75	+1.67	6位	咽頭結膜熱	0.14	0.17	-0.03
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.32	0.20	+0.12		無菌性髄膜炎	0.14	0.00	+0.14
3位	突発性発しん	0.23	0.35	-0.12	8位	RSウイルス感染症	0.09	0.20	-0.11
4位	手足口病	0.21	0.13	+0.08		水痘	0.09	0.09	±0.00
5位	流行性角結膜炎	0.17	0.11	+0.06	10位	細菌性髄膜炎	0.07	0.00	+0.07

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

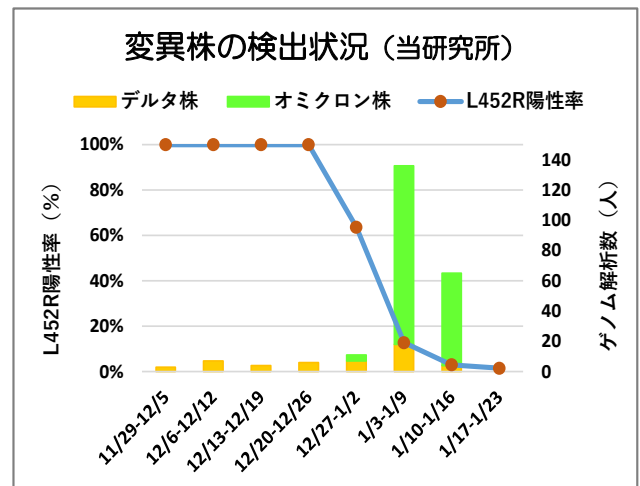
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 12人 （保健所：神戸市2人、尼崎市1人、姫路市6人、西宮市1人、赤穂管内1人、洲本管内1人）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	後天性免疫不全症候群 1人 （無症状病原体保有者；感染地域：国内；感染経路：同性間性的接触） 梅毒 2人 （①宝塚保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性30歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、②宝塚保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性10歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触）
2022年第2週までに診断されたものの報告遅れ	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人 梅毒 1人

検査情報（兵庫県立健康科学研究所）

当研究所では、新型コロナウイルス変異株の発生動向を把握するために、新型コロナウイルス PCR 陽性検体について、アルファ株に特異的な N501Y 及びデルタ株に特異的な L452R の変異スクリーニング検査とゲノム解析（変異株確定検査）を実施してきました。

新型コロナウイルスは変異しやすく、4月～5月の第4波では従来株からアルファ株へ、8月～9月の第5波ではアルファ株からデルタ株への置き換わりが確認されました。

今回検出状況を示す12月以降の第6波では、オミクロン株の増加に伴い L452R 陽性率の低下が認められ、デルタ株からオミクロン株への急激な置き換わりが確認されました。



この週報は兵庫県立健康科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。